

SAK だだよ

神奈川県スキー連盟
横浜市神奈川区台町16-1
ソレイユ台町 407号室
電話 045(311)8907
FAX 045(324)6966
発行者:柴田伸彦
編集責任:東海林

大回転競技青年男子で 大森陸弘君 優勝 達成!

第49回国民体育大会冬季大会 会場 宮城県鳴子町
期日 平成6年2月15日~18日



藤田君2位 西館君3位をはじめ 八名が入賞と大活躍

第49回国民体育大会冬季大会スキー競技会は、宮城県鳴子町を会場として2月15日より18日までの4日間、「白銀に

あふれる友情、光る技」をスローガンに開催されました。本県選手団は12日に現地入りし、コンディション調整を

して参りました。大会第一日開会式。大会第二日、競技初日より本県選手団にとって昂奮する大会となりました。

大回転競技成年女子A・吉田美輝選手に始まり、成年女子2部・福田明子選手、距離競技成年女子2部・沖崎ゆかり選手の入賞に続き、大回転競技成年男子C・大森陸弘選手の優勝。団体での優勝は野沢国体以来16年ぶりの優勝となりました。

さらに、大会第三日、競技二日目、コンバインド競技成年男子C・西館健吾選手が前日のジャンプ競技6位から距離競技で三人抜き3位に躍進し入賞。大回転競技成年男子Bでは柳隆晃・若旅健二の両選手が、また成年男子2部では藤田洋一選手が入賞。大会第三日、競技第二日終了時点で天皇杯8位、皇后杯9位と神奈川県選手の大活躍でありました。



「かながわ・ゆめ国体」の愛称で、平成10年に神奈川で開催される国民体育大会、その具体的な準備活動も身近に感じられるようになってきました。

選手強化に成果
私共の上部団体である御神奈川県体育協会から各競技団体に對して、選手強化対策の取組みについて数年前から依頼があり、その依頼を受けて各種事業を実施してきました。そして宮城鳴子国体におい

片岡団長以下役員一同の結束と選手のとまりの賜ものでしょう。また、選手の活躍を支えたアルペン・ノルディックコーチ陣の健闘が光りました。

成績

- 成年男子C大回転 優勝 大森 陸弘
- 成年男子2部大回転 2位 藤田 洋一
- 成年男子Cコンバインド 3位 西館 健吾
- 成年女子A大回転 5位 吉田美輝子
- 成年男子B大回転 5位 柳 隆晃
- 成年女子2部大回転 6位 福田 明子
- 成年女子2部クロスカントリー 7位 沖崎ゆかり
- 成年男子B大回転 8位 若旅 健二
- 以上8名が入賞
- 成年男子2部クロスカントリー 9位 伊藤 龍雄
- 成年男子Cスペシャルジャンプ 10位 西館 健吾
- 成年女子Bクロスカントリー 12位 長谷川文字
- の3名も健闘

最終日はエントリーのない種目もあり、得点を伸ばすことができませんでしたが、皇后杯9位、天皇杯11位と目標を上回る好成绩・高得点をあげることができました。

明日への期待

健全な組織を願う法人化へ
法人化への動きも進んでいまして、現在は上部団体の県体育協会に上申し、定款のチェックが終了致しました。そして県教育庁スポーツ課を介して監督官庁への申請ができ

る体制になりました。評議員会までには、詳しい状況を報告できると思います。また、平行して法人後の組織を見据えて各種の事項も検討していきたいと思っております。一日も早く公益法人として法

理事長 柴田伸彦

的に認知され、私共の事務所の登記及び寄付を受けやすくし、税務上の優遇を受けるなどして、健全な組織を作りたいと考えています。SAKだよりを季刊行
近い将来、会員は二万人に

長浜一年選手

リレハンメル
オリンピックに出場



川崎スキー協会に所属する長浜一年選手が日本代表として男子リレー競技に出場し活躍しました。ここにプロフィールを紹介いたします。

長浜一年(ながはまかずとし)昭和44年、青森県野辺地町で生まれる。初めてスキーに触れたのは小学生1年、3年生の時に町の記録会に出場。この体験がレース心を芽生えさせ競技スキーを続けることとなる。高校3年ではインターハイ5位。専修大スキー部に所属しユニバシアード札幌大会でコンビネーションで優勝。インカレではクラシカル・フリー・リレーの3種目制覇を果たし専修大の総合優勝をもたらす大活躍する。

成田発、日本航空直行便は一路イタリアのミラノへ、マルペンサ空港に到着し専用バスでチェルビニアに入る。

1月15日晴、ロープウェイを乗り継いで標高3480mのプラトローザの山頂に、背後に広がる広大な氷河、目前にそびえるチェルビニア(マッターホルン)南壁と、ヨーロッパアルプスの雄大なパノラマを心行くまで満喫する。

山頂からグレンデの中心でもあるブラン・メゾンまではマッターホルンの裾野へ滑り込むように広い緩やかなロング・ダウンヒルが続く。



チェルビニアへの旅 平塚スキー協会 木村征紀

なヨーロッパ独特の雰囲気は今もかわっていない。
1月17日、朝食もそこそこに専用バスで国境を越え、フランスのシャモニーへ。
昼頃に到着、早々富士山より少し高いエギュ・テュ・ミディの山頂へ。あのヨーロッパ最高峰のモンブランは残念ながら視界が悪く雲の中。展望台の下の雪洞を出た所で、針峰群の壁に登攀するアルピニストを見つけて記念撮影。

1月18日晴、前日に続きシャモニーの町を取巻く5つのスキーエリアで最も標高の高いロニャン・グラン・モルテへ。
標高3275mの展望台からの眺望、そしてたつぷりと距離のある大斜面はヨーロッパのスキーライフを満喫することができた。

フレジエール

1月19日晴、スキーライフを日替で楽しめるシャモニー近郊に位置するフレジエールに向う。

標高1894mと低く、南向きの斜面のエリアでハーフチューブに挑戦する。始めは恐る恐るで次第に熱中し堪能する。メールド氷河の雄大な眺めを見ながら滑る長いコースはアイスバーンとなつてきつい帰り道となる。
イタリア・チェルビニアの旅は山を越えればスイス、足を延ばせばフランスへ、ヨーロッパアルプスのスキーエリアを広範囲に楽しめ、欲張りなスキーを満喫することができた。また行きたい、思い出多いツアーでした。

各部だより

普及部

普及部総括

今シーズンは予報に反して豊富な雪に恵まれ、実技講習会は各会場ともにベストのゲレンデ状況で行なうことができた。

3月のS A J技術選と北海道IIの行事が終了し、当普及部の全行事が無事完了することができました。これは会員皆様のご支援によるものと深く感謝を申し上げます。

S A Kも支援することがあるかと思えますので、来シーズンも皆様のご協力をお願い申し上げます。

準指導員検定会について

資格検定は、お金と時間と体力に更に技術力を兼ね合わせる必要があります。

雪のない時期の理論講習会からスタートし、慣れない勉強？、11月28日の理論検定、雪が降りだした雪上講習、実技講習では習っても習っても出来ない演技？、そして実技の検定会が開催されました。

ゲレンデ状況はよく整備されておりましたが、前日の雨で固いバーンとなり、全員期待と不安の交差する顔と顔。(検定員は鬼じゃないぞ) 全体的な印象としては、スキーの中心に乗り自ら操作するといふものでなく、スキーに乗せられている状況であり、教程に示された演技要領をやる事が基本的にマスター出来にくいように感じられました。

待と不安の交差する顔と顔。(検定員は鬼じゃないぞ)

スキーの中心に乗り自ら操作するといふものでなく、スキーに乗せられている状況であり、教程に示された演技要領をやる事が基本的にマスター出来にくいように感じられました。

成績

受検者 259名
合格者 96名
合格率 37.1%

受検者の皆さん、受検する前のシーズンに如何に応用幅の広い技術をマスターするかが一発合格の前提です。

S A K 技術選手権大会 兼 S A J 技術選考会

例年開催されていた五竜とおみスキー場から、車山高原スキー場に会場を移して行なわれました。

大会につきましては地元の方により良好なゲレンデ状況に整備されていきました。演技種目はS A Jの本選にならざるを得ない変更を致しました。

技術評価のポイントには斜面状況に合った実践的な滑りの質をみる事と、縦方向の効率的な展開にウェイトを置きました。

マスターズ研修会報告

木村信吉

マスターズ研修会と言ってもピンとこない人が多いと思います。

私もこの原稿を頼まれた時参加した記憶がないので断つたら「北海道行事IIに木村さん参加したでしょう」といわれ、ようやく思い出しました。そうです女満別のメビウスでの研修会だったのです。ゲレンデはリフトが2本だけ



県民スキー(朝里川温泉スキー場)

地球スケールのビッグイベント

インタースキー野沢で95開催

オリンピックイヤーと同様に4年毎に開催される「世界スキー指導者会議」(インタースキー)が、来る一九九五年一月二十一日から、広範囲に広がるビッグなゲレンデと、野沢菜で有名な、長野県野沢温泉スキー場で開催される。スキーヤー注目のイベント



'94野沢ミニインタースキー参加各国による合同デモ

今回の既にこの会議も第十回目を迎え、インタースキー参加国もオーストリアやスイス、フランス、イタリア、アメリカなど数十カ国が増え

去に蔵王で開催された経緯があり、今回で2回目である。そこで、これまでの歴史の中で話し合われた、テーマの変更を掻き摘んでみると、一九五〇年代は、スキーのテクニクが注目を集め、六〇年代は、国別の指導法が脚光を浴び、七〇年代は、スキーヤーの急激な増加に伴って、ゲレンデにおいての安全が話題になった。八〇年から九〇年代にかけては、スポーツとして



情報

けなので、コースが3本に分かれていてとはいえずちよっと単調な感じがしました。その単調さを救ったのがタイムレースではなかったでしょう。地元の方のご厚意で、タイムレースを楽しむことができました。

最終日は、オプショナルツアーでオホーツクの流水観光をしてきましたが、流水の大部分は沖合へ去ったあとだったのが残念でした。

朝食のバイキングも並ぶ必要がなく、スキー場までのバスの移動もなく、リフトも歩いていて、こんなのにのんびりと時間的にゆとりのあるスキーをはじめて経験しました。

のスキーが関わるあらゆる事柄を各国が考え、会議の内容もより専門化しているようである。

我々の所属する、財団法人スキー連盟においても、野沢インタースキーにて、日本の考えを被歴し、雪上デモンストレーションを行なわなければならないが、それに合わせるように、今年3月に第十五回インタースキー会場の、野沢温泉にて開催された全日本デモンストレーター選考会、大ベテラン、渡部三郎デモを始め、新鋭のオーストリア国家検定教師の資格を持つ、若月新一デモを含む総勢二十六名の日本のデモンストレーターが選出された。財団法人スキー連盟では、現在そのデモンストレーターを加え、日本のスキーメソッドや考え方を整理し始め、発表内容の検討の準備段階に入ったばかりである。

「S A Kだより」では、インタースキーに関する情報が入り次第、その新鮮な情報で随時会員の皆様にお伝えしていく予定です。

大会は新旧交代の感もみられたが、野沢のバーンは非常にハードで、外国人選手の参加者増をみる中で、質の高さをより強く求められた感が致しました。

この後選考された新デモは、来期の野沢インタースキーに重点をおいた内容と推測がされます。

今年10月頃にはスキー教程の改訂が予定されて居り、S A Jとしては来シーズンは節目の年ではないかと思えます。

Official Score

正指導員合格者

期日 H 6年2月23日〜26日
第1会場(朝里川)
森田 義章 山手スキー
山口 生史 横浜教職員

第2会場(網張)
増田 誠 横浜スノーメイ
植松 哲 横浜ベガサス
堂田 輝美 横浜ユーベル
佐藤 博一 湘南スキー
富澤 慶弘 川崎市役所
高橋 哲也 川崎市役所
伊藤 明子 雪稜スキー
安藤 務 川崎スキー
小島 朋子 大和同好会
山田 耕太 まつりスキー
村上 哲郎 東洋英和スキー

第4会場(流葉)
木村 信吉 山びこスキー
小泉 佳子 横浜市役所
矢野 雄一 中原リーゼン
鶴巻 信夫 横浜スポーツマン
松坂 一男 横浜市役所
上田 英之 ソニー厚木
中根 進 アルベルグ
滝村 隆志 横浜スポーツマン
永井 正巳 サンタクロース
吉岡 強 神奈川若葉
井口 俊宏 慶応の上
富塚 勝 慶応の上
菊池 郁子 小田原ポツマン

A級公認検定員
期日 H 6年2月23日〜25日
岡田 良平 相雪スキー
田場川 博 中原リーゼン

準指導員合格者
期日 H 6年3月4日〜6日
会場 車山高原スキー場
(横浜)
吉野 文衛 高木 和子
野村 一路 山崎 真
鈴木 和裕 堀口 誠
小田久美子 松村 義一

有吉 義一 石坂 慎治
翠尾 均 仙道 信男
湯川 元文 川崎智恵子
隅 秀敏 藤原 篤
遠田 聡 金子 斉
岡本由美子 二本 雅浩
佐藤 久美 岡本 洋明
羽生あつ子 長谷川辰彦
陶山 昌彦 渡邊 佳洋
石毛 水脈 竹腰 誠
森合 晶子 田口 健介
滝沢 武久 金田 晃和
海保 実 内藤 紫麻
熊谷 浩 中村 有作
馬場 慎吾 波田野理恵
石川 真紀 平田 稔雄
大越 雄幸 稲垣 博紀
石橋 正樹 飯嶋久美子
(川崎)
沢木 謙二 太田 豊
関根 智 下山 聡
山中 辰郎 青木 和美
稲垣 志穂 鎌田 雅樹
竹内 克人 山崎 栄一
村形 政博 増田 義行
木下 千鶴 石井 貴子
長崎 大 福田 敏憲
(小田原)
荒木 勇司 橋上安貴子
鈴木 学 飛鳥井ゆかり
(相模原)
江口 潤 高久田宏一郎
大竹 幸雄 青木 俊
中西 元
(藤沢)
中尾 武 秋元 由美
(平塚)
松橋 康栄
(鎌倉)
比留間 彰
徳元 修一
(逗子)
深沢 啓子 水附謙太郎
(大和)
長崎 明宏 森 敦子
(足柄)
岡田 武司
(座間)
田舎 浩明
(厚木)
小野田忠直
井上 敏郎 古川 順一
高木 豊 大野 守
小林 貴 三森 智則
(津久井)
吉沢 利明
(南足柄)
成田 俊彦
小泉 太史

S A K 技術選手権大会成績並びにS A J 技術選考出場選手
期日 H 6年1月28日〜30日
会場 車山高原スキー場
男子
1位 川崎 信之 川崎
2位 工藤 英朋 横浜
3位 門脇 均 小田原
4位 宮城 洋二 横浜
5位 永田憲一郎 横浜
6位 園部 修 藤沢
女子
1位 永吉 雪絵 横浜
2位 伊藤 明子 川崎
3位 浜岡 由香 横浜
4位 森本 珠水 横浜

公認パトロール合格者
期日 H 6年3月6日〜9日
長澤 敏一 ユーベルスキー
米倉 孝則 ザスキーヤーズ
古谷 省吾 ランダムスキー
富士川裕司 雪稜スキー
斎藤 恵美 雪んこスキー
小竹 政年 ソニー厚木
大槻 慎一 厚木スキー

日赤救急員合格者
期日 H 5年9月5日〜19日
会場 厚木福祉センター
(横浜)
丹羽 一夫 鈴木 紀孝
長澤 敏一 加島 浩和
藤原 友子 梅川 潤
(川崎)
岡崎 恵子
近藤 英文 鈴木万里子
丹羽 桜子 山森 聡
山口 茂雄
(鎌倉)
米倉 孝則
(横須賀)
村上 憲也
(足柄)
酒井 浩
(厚木)
小竹 政年
大槻 慎一 田中 勝
伊藤 尚文 古谷 好子
森川 恵司 阿部 和子
矢本 佳愛 大木 靖子
磯崎 久子

再生紙(古紙)

各部だより

強化部

強化部総括

9月の野辺山合宿から始まった平成6年度事業も、4月の八幡平合宿まで全て終了することができました。大会選手強化・指導者の育成・等多岐にわたる事業も各分野ともそれぞれ成果を上げることができました。特に、一連の選手強化、県選手権大会(アルペン)の「小学生・中学生の部」新設、県連公認セッター、技術指導員の設置・導入は第53回国体(平成10年)にとどまらず、21世紀に向けての第一歩と確信しております。なお各事業執行に際しましては協会・クラブ・会員の皆様より多大なるご理解ご支援ご協力をいただきました。ここに厚く御礼申し上げます。敢ずご報告と致します。

県総体

H 6 . 2 . 25 ~ 27

市原市 模木浜 相厚横 勝位 優23



第45回総合体育大会、冬季スキー競技会は2月25日(金)、長野県の南牧村体育館において、参加24市町の役員、選手を集めて盛大に開会式が行なわれた。 回転競技 翌26日(土)、野辺山スキー場スノーレドコースの回転競技で熱戦の火蓋が切られた。



前年の覇者相模原市が、特に女子選手の活躍で高得点を重ね、追い越る、横浜市、藤沢市、平塚市、を振り切りこの競技を制した。 距離競技 17時より、スキー場内に設

ジュニア強化合宿 転換期にきたジュニア強化

「八幡平合宿より」

我がジュニアチームは大変器用である。マスメディアの発達により、目で見る情報でよりハイレベルなテクニックを身につけている。一見速そうであるが、それは大きな間違いを犯している。 選手として大切なスキーの基本技術がほとんど身につけていないこと。これは、真似をする器用さと、指導者が上半身の動きにかたよった指導をしていることである。上半身の指導は比較的簡単であり選手も簡単に矯正できる。しかし、下半身の指導はむずかしい。フリー滑走や実戦的なセッティングの中で矯正や身につけるのはむずかしい。

基本技術が最優先

また他に考えられることは、年々の雪不足により、基本トレーニングに十分な時間を取れない点でなからうか。しかし、どのような環境であろうがジュニアについては、まず基本技術を身につけさせることが最優先である。

B級セッターが7名誕生

第一回神奈川県スキー連盟公認「セッター検定講習会」が3月27、28日長野野辺山スキー場で行なわれました。理論講習では「アルペン競

期日 H 6 年 3 月 27 日 ~ 28 日 会場 長野野辺山スキー場

資格者氏名

- 1 白田由紀久 アールベルグ 2 高沢一二 アールベルグ 3 桜井俊輔 横浜スベロー会 4 渡辺佳洋 横浜スベロー会 5 大原伸悦 横浜アルペン 6 石井 郷 高体連A 7 小松 剛 高体連A

技の知識・ルール、セッターの服務心得、旗門の種類とコースセットの要領、コースセッターの実務」を三時間。理論検定一時間三十分を27日に実施。28日は四時間にわたり試合形式による実技検定を行ない、7名のSAK公認B級セッターが誕生しました。

今回の合宿において、ターンとテクニックの関連、その中で基本動作である膝・腰のアンギュレーション・アンチローテーションがなぜ必要なのかなど、黒板等の利用でまず頭の中で理解させ、雪上において補助ボールの導入により、フォームの矯正と、基本技術の向上の練習に重点をおいた。しかし、この八幡平の6日間の合宿で彼らはスキーの基本技術の重要性をマスターしたのでなく理解できただけなのである。

大切なのは、この続きを我々コーチがそれぞれ各クラブ・地域の指導者がいかに引続き指導して身につけさせなければ本当の効果はない。また、これ以上ハイレベルな位置に送り出すこともできない。 一貫した指導には、ジュニア長期育成強化は、

まさしく長期にわたったの指導であり、大半を基本技術の向上にトレーニングをあてても遅くはない。 我々が選手を預った時には、選手のフォームの矯正をするのではなく、よりハイレベルなトレーニングを指導している。この指導に継続性をもたせるためにも、各クラブ・地域の一貫した技術教程等もそろそろ必要でないかと思う。そして近年の雪不足に悩まされる中で、一貫した指導育成をしていくためには、海外遠征も必要な時期に来ているのではないだろうか。

いずれにせよ我がジュニアチームは、着実に力を付けてきていることは間違いない。 あとは我々コーチ陣と各地域の指導者との連携をいかに一貫した指導をしていくにかかっているのである。

7名のSAK公認B級セッターの皆様には、今後とも十分に研鑽を重ねられ、公認セッターに相応しい指導者になられるよう期待しております。

Official Score

第52回神奈川県スキー選手権大会

期日 H 6 年 1 月 1 日 ~ 2 日 場所 池の平スキー場

- 成年女子B 5 km 21 min 52 sec ①長谷川文子 東芝スキー ②松原 久美 ヴィヴァント ③野田 啓子 ヴィヴァント 少年男子 15 km 53 min 15 sec ①岡本 一朗 横浜高校 ②小林 央 横浜高校 ③足立 史郎 横浜高校

- 成年男子C 15 km 51 min 14 sec ①酒田 勝則 日電相模原 ②佐藤 一夫 東芝スキー ③坂下 誠光 新キヤタピラ 成年男子B 15 km 55 min 12 sec ①川口 茂樹 東芝スキー ②相沢 博 相模原市役所 ③加藤 守 新キヤタピラ

- 成年男子A 15 km 45 min 52 sec ①草薙 大輔 東海大学 ②沢田 康浩 日本IBM ③藤田 守 小田原郵便局

- 兼第16回神奈川県民体育大会 スキー競技会 期日 H 6 年 1 月 23 日 ~ 24 日 場所 池の平クロスカントリー スキーコース

- 兼第49回国体スキー競技会 神奈川県選考会 期日 H 5 年 12 月 17 日 ~ 19 日 場所 野辺山スキー場

- 兼第14回ミスノ杯 スノーボードコース 期日 H 5 年 12 月 17 日 ~ 19 日 場所 野辺山スキー場

- 兼第49回国体スキー選考会 旗門数 1本目36 2本目38

- 兼第49回国体スキー選考会 旗門数 1本目18 2本目18

- 兼第49回国体スキー選考会 旗門数 1本目35 2本目35

女子の部 1 min 00 sec 05

- ①堀内みゆき ソニー厚木 ②福田 明子 横浜スキー ③大島 紀子 IBM藤沢

- 成年男子A 51 sec 74 ①朝賀 輝昌 横浜スキー ②乙供 貴史 スノーウェア ③吉成 俊晴 横浜スキー

- 成年男子B 54 sec 02 ①若旅 健二 横浜スキー ②工藤 直樹 EBARA ③木村 秀郎 NKK

- 成年男子C 53 sec 25 ①大森 睦弘 ソニー厚木 ②川村 剛 IBM藤沢 ③松原 章 ヴィヴァント

- 少年男子 53 sec 86 ①角田 昌紀 県川崎高校 ②中田 良 汲沢高校 ③柏木 崇 有馬高校

- 第11回力ザマカップ スノーボード大会 期日 H 6 年 1 月 24 日 場所 上越国際スキー場

- 旗門数 25 全長 1150 m 標高差 260 m

- 旗門数 25 全長 1150 m 標高差 260 m

- 旗門数 1本目35 2本目35

- 旗門数 1本目18 2本目18

女子の部 1 min 00 sec 05

- ①堀内みゆき ソニー厚木 ②福田 明子 横浜スキー ③大島 紀子 IBM藤沢

- 成年男子A 51 sec 74 ①朝賀 輝昌 横浜スキー ②乙供 貴史 スノーウェア ③吉成 俊晴 横浜スキー

- 成年男子B 54 sec 02 ①若旅 健二 横浜スキー ②工藤 直樹 EBARA ③木村 秀郎 NKK

- 成年男子C 53 sec 25 ①大森 睦弘 ソニー厚木 ②川村 剛 IBM藤沢 ③松原 章 ヴィヴァント

- 少年男子 53 sec 86 ①角田 昌紀 県川崎高校 ②中田 良 汲沢高校 ③柏木 崇 有馬高校

- 第11回力ザマカップ スノーボード大会 期日 H 6 年 1 月 24 日 場所 上越国際スキー場

- 旗門数 25 全長 1150 m 標高差 260 m

- 旗門数 25 全長 1150 m 標高差 260 m

- 旗門数 1本目35 2本目35

- 旗門数 1本目18 2本目18

総務部

各部だより

総務部報告

今年度、総務部の執行方針と致しまして、

- ①所属団体との関係・連絡の充実
- ②会員サービスの向上
- ③安定財源の確保

の3点を重点に執行をして参りました。

その結果、各協会・クラブのご協力により、当初の目標は達成出来たと判断致します。

マスターズスキー大会

「年相応でなくスキーはやはりスピードだ！」

横須賀スキー協会 白井嘉子

3月1日から開催されるマスターズスキー大会に出場する為池の平スキー場に到着。大会受付を済ませ割当の民宿に向かう。池の平スキー場は初めての地である。どんなスキー場なのかチョット気になっていた。

宿の奥さんがゲレンデ迄車で送ってくださった。マスターズスキー大会のゼッケンを付た方達が滑り降りては、どんどんリフトで上って行く。公開練習が始まっているのだ。私もこの仲間に入って滑るのだと思うとだんだん不安にな



行へ反映して行きたいと考えております。

安全対策講習会 行事報告

11月23日午前の2回

会場 相模原教育会館 スキー人口が増え、楽しみ方も多様化、大衆化されるに従い、スキー傷害も増加の傾向にある。雪なし県として事故防止対策を重点に事故発生

の予知能力を高めるための内容とした。

今年度は、指導員、準指導員を受検される方の、受検資

募集 中
スキーの夢とロマンを
広げる安全活動に参加を
◎日赤救急法養成講習会予定
期日 平成6年9月4日、
11日、15日、18日の4日間
会場 厚木市総合福祉センター
時間 各回共9時~17時
申込期限8月22日事務局まで
安全を確保することは、楽しいスキーを普及する最も大切なことと位置付け、安全意識の高揚、及び事故防止対策を推進しております。

格講習会の一部にもし、講習会終了者には「スキー傷害救急法講習会終了証」を交付した。他県連も含め2日間、延三九九名の参加を得た。



法人化推進室

法人化いよいよ

既にごの広報を通じ皆様にも連の法人化の必要性についてご案内して参りましたが、その後準備委員の皆様のお骨折りをいただき、定款はじめ主要な規程類の整備も整い、昨秋クラブ代表者会議・地区懇・更には協会長会議等での内容を説明し、法人化への同意をいただきました。

既に団体協（我々の上部組織）への説明も終え、いよいよ県当局への提出へと最後の関門にさしかかりました。別表に示します様に、いろ



全国スキーパトロール 技術競技大会

第9回全国スキーパトロール技術競技大会が3月26日、27日の二日間、青森県大鰐スキー場で開催され、神奈川代表はAチームが14位、Bチームは25位と健闘した。

ここ数年スキー事故が増加する傾向の中、「安全なスキーを楽しむため」神奈川県スキー連盟は、救急法、安全対策講習会などを積極的に開催、その成果を全国大会で競った。

昨年の初出場の体験を生かし、大会一日前に現地入りし念入りなコースチェックを行なった。夜は室内競技であるロープと三角巾を、本番さながらの方法で練習を繰り返し、パトロールの第一条件であるチームプレーを原典に、A・B両チームの団結力で、闘争意欲を盛り上げていった。

一日目の室内競技では、たくさんの観客と選手の前で競

いろいろな点で法人化は必要で、県連総力を挙げて人格をもった組織に発展させたいと考え



技をした。さすがに手足が震え、手に汗握る感覚であったが、三角巾では27チーム中8位という好成績を残した。

二日目の雪上競技では、雪なし県の神奈川！緊張の度合もさらに上昇した。

ホート搬送という連携プレーをチームワークでこなし、12位という素晴らしい成績を残すことができた。

室内競技、雪上競技の総合では、地元大鰐チームを押え全国大会としては、14位と大健闘である。

いろいろと悔いの残る事もあるが、それを来年に向けての課題とし、次の北海道大会は10位以内を目標に、頑張ろうと改めて闘志を燃やす、神奈川パトロールの団結力を、見守ってもらいたいものだ。

法人化のポイント (主な改正点)

	【従来】	【法人化後】
呼称	神奈川県スキー連盟	社団法人 神奈川県スキー連盟
団体の性格	みなし(任意)団体	人格を持つ認可団体(公益法人)
最高議決機関	評議員会	社員総会(形態は旧来と変わらず)
予算	評議員会で決定	社員総会で決定後県当局に報告
事業計画・報告	同上	同上
重要案件	同上	定款変更・解散は県当局に認可申請
納税義務	ある(しかし未納)	発生(但し大半が非課税)
税率	37.5%	27%(但し大半が非課税)
会計監査	内部(監事)監査	監事・公認会計士(社則は免除可調査中)
評議員	協会から選出	変わらず(呼称のみ変わる→代表社員)
役員	会長以下24名	変わらず
役員選出方法	役員委員会+会長推薦	変わらず(委員選出方法も変わらず)
執行組織	理事会	変わらず(一部役職の呼称変更あり) 理事長→専務理事 副理事長・部長→常務理事
下部組織	協会・クラブ・会員	変わらず(部協会を認知)
会員	SAJ会員登録者	変わらず
協会の権利義務	議決権、各種委員の選出 講習会の開催 級別テストの開催	変わらず
会員の権利	県・SAJ行事への参加	変わらず
会費	個人SAJ登録費 団体(クラブ):1万円/年	変わらず
新たな発生費用		公認会計士の監査費(5-10万円/年)
事務所の名義	財団法人神奈川県体育協会	社団法人神奈川県スキー連盟

Official Score

- 成年女子A 2 min 4 sec 8
 - ①吉田美穂子 野辺山ハイランド
 - ②水野 潤子 横浜スベロー会
 - ③及川 展枝 松蔭女子短大
 - 少年女子 2 min 9 sec 47
 - ①内田 美穂 鶴沼女子高校
 - ②木川 陽子 新羽高校
 - ③小林 ゆみ 関東学院高校
 - 成年男子C 2 min 00 sec 3
 - ①大森 睦弘 ソニー厚木
 - ②桜木 孝正 平塚スキー
 - ③伊藤 元也 カザマ
 - 成年男子B 1 min 57 sec 82
 - ①若旅 健二 横浜スキー
 - ②藤田 洋一 ユーベル
 - ③羽鳥 孝之 横浜アルペン
 - 成年男子A 1 min 54 sec 31
 - ①三浦 隆樹 東海大湘南学舎
 - ②朝賀 輝昌 横浜スキー
 - ③高橋 宣義 東海大湘南学舎
 - 少年男子 2 min 00 sec 4
 - ①角田 昌紀 泉川崎高校
 - ②中田 良 汲沢高校
 - ③佐野 裕介 生田東高校
- 第16回 神奈川県民体育大会
 - 期日 H6年1月26日
 - 場所 上越国際スキー場
 - コース 大沢コース
 - 全長 1150m 標高差 260m
 - 旗門数 24
 - 種目 大回転
 - 成年女子B 1 min 4 sec 31
 - ①堀内みゆき ソニー厚木
 - ②羽鳥 真実 川崎ユーベル
 - ③中尾 理恵 シルバースベーク
 - 成年女子A 59 sec 35
 - ①吉田美穂子 野辺山ハイランド
 - ②水野 潤子 横浜スベロー会
 - ③及川 展枝 松蔭女子短大
 - 少年女子 1 min 3 sec 68
 - ①内田 美穂 鶴沼女子高校
 - ②木川 陽子 新羽高校
 - ③小林 ゆみ 関東学院高校
 - 成年男子C 58 sec 34
 - ①大森 睦弘 ソニー厚木
 - ②桜木 孝正 平塚スキー
 - ③篠村 竹美 県警スキー
 - 成年男子B 57 sec 62
 - ①若旅 健二 横浜スキー
 - ②羽鳥 孝之 横浜アルペン
 - ③柳 孝晃 入船鋼材
- 第12回小賀坂杯 スラローム大会
 - 期日 H6年3月4日、5日
 - 場所 上越国際スキー場
 - コース 美奈コース
 - 旗門数 1本目38、2本目38
 - 女子 1 min 24 sec 46
 - ①水野 潤子 横浜スベロー会
 - ②福田 明子 横浜スキー
 - ③堀内みゆき ソニー厚木
 - 成年男子A 1 min 18 sec 49
 - ①鈴木 康朗 ユーベル
 - ②中田 公文 ベイレーシング
 - ③吉成 俊晴 横浜スキー
 - 成年男子B 1 min 16 sec 00
 - ①若旅 健二 横浜スキー
 - ②工藤 直樹 EBARA
 - ③菱沼 利徳 ベイレーシング
 - 成年男子C 1 min 18 sec 52
 - ①大森 睦弘 ソニー厚木
 - ②川村 剛 IBM藤沢
 - ③中島 真一 横浜スポーツマン
 - 少年男子 1 min 21 sec 57
 - ①小山 元 磯子工業高校
 - ②長谷川泰治 ベイレーシング
 - ③関水 文俊 藤嶺藤沢高校
- 第52回神奈川県 スキー選手権大会
 - 期日 H6年3月6日
 - 場所 上越国際スキー場
 - コース 美奈コース
 - 種目 大回転
 - 小学校女子 1 min 28 sec 52
 - ①与口 華那 横浜スキー
 - ②門倉美由起 ヴィヴァント
 - ③八木 翔子 ホワイトベアーズ
 - 中学生女子 2 min 05 sec 77
 - ①野田 綾子 ヴィヴァント
 - ②高橋 陽子 新羽高校
 - ③吉田 祐子 フェリス女高
 - 成年女子A 1 min 27 sec 18
 - ①角田 昌紀 泉川崎高校
 - ②吉成 俊晴 横浜スキー
 - ③鈴木 康朗 ユーベル
- 第8回野辺山杯 スラローム大会
 - 期日 H6年4月2日
 - 場所 野辺山スキー場
 - コース スーパーレッド
 - 旗門数 1本目44、2本目39
 - 女子 1 min 38 sec 50
 - ①羽鳥 真実 川崎ユーベル
 - ②吉田 祐子 フェリス女高
 - ③佐藤 利香 富士通
 - 男子 1 min 28 sec 43
 - ①角田 昌紀 泉川崎高校
 - ②菱沼 利徳 ベイレーシング
 - ③工藤 直樹 EBARA
 - 第2戦
 - 旗門数 1本目39、2本目37
 - 女子 1 min 44 sec 03
 - ①羽鳥 真実 川崎ユーベル
 - ②鈴木かおり IBM藤沢
 - ③吉田 祐子 フェリス女高
 - 男子 1 min 34 sec 97
 - ①角田 昌紀 泉川崎高校
 - ②吉成 俊晴 横浜スキー
 - ③鈴木 康朗 ユーベル

版からかわる協会

神奈川県スキー連盟広報委員会・編集グループ

News&Communication

- 協会かわる版は、協会・クラブの活動や行事を紹介し、コミュニケーションの輪を広げるために企画されています。
- 多くの皆様からの情報を各協会の広報委員までお寄せ下さい。

トリ、53国体へ向けての選手強化等が急務となっております。

高体連は、教育活動の一環としてスキー競技を位置付けて参りました。現在、事故防止・生活指導等のため引率の義務付けを行なっています。

今後とも「学校教育活動」の高体連に、特別のご配慮ご鞭撻また、ご協力ご理解賜りますようお願い申し上げます。



ビデオ講習

厚木市スキー協会

スキー業界の不況の中、協賛店の確保に奔走しながらも定員四〇〇名の会場がほぼ満席だったスキー映画会、快晴の中一五〇名近くの参加者となったみつまたスキー場での市民競技会、帰路大雪での大渋滞の中36時間を要した蔵王での市民バスと当協会創立時より15年続いた三大行事も無事終了しましたが、今期行事の中でも特筆すべきものと言え、県総体での総合二位の成績でしょう。ここ数年総合三位を保っておりましたが、今期は当協会の森森の団体優勝に示されるように強化部の躍進が目ざましく、継走での三年連続優勝などで大きく得点し今回の成績アップとなりました。最大の弱点である予算不足、女子部の再強化等の問題を克服すれば総合優勝も夢ではないと役員一同大いに意気あがる今期でした。

南足柄市スキー協会

春休み志賀一之瀬への親子スキーツアーを紹介します。参加者は一四〇名でしたが、今年も講習班とは別にツアー班を編成しました。シャトルバスを利用して奥志賀や熊の湯まで足を延ばし、三月末とは思えない雪で気楽にスキーを楽しみました。夜は全員が参加して合格発表や懇談会で和やかな時を過ごしました。来年の再会を約しながら……

川崎スキー協会

社会的動向として益々国民、県民、市民の体力、健康増進の気運が高まる中、当協会の役割の大きさを認識しております。とりわけ高齢化社会への対応、青少年の育成・強化等がそれぞれに定着しつつある各事業をさらに充実させるため、所属団体、会員の意見を取り入れながら、行政との連携の中で運営の安定、充実に取り組んでいます。

平成6年度事業として「スキーフェア」「スキーフェスティバル」「実業団・市民スキー大会」「レーシングキャンプ」「県総体スキー競技会」「親子白銀のつどい」と大変好評でした。

現在、協会では各行事に若い指導員を採用しています。クラブ行事とは違いもつと大きな組織で運営にあたるという意味では、本人の指導員としての意識向上にも繋がるものと確信しております。

「スキーフェスティバル」では、「一般コース」の他、「マスタートーズコース」を設け、45歳以上でスキーも温泉も楽しみたいスキーヤーを募集し、三班編成しました。昔とつた杵柄の生徒や、55歳でスキーを始めた生徒の皆さんでしたが、担当指導員が振り回される程元気仲間が集まりました。主旨と外れて「マスタートーズコース」から1名が級別テスト1級を受検し見事合格、参加者二〇〇名全員の拍手を受けました。

また「親子白銀のつどい」では、春休みを迎えたばかりの子供達が、我がもの顔でゲレンデをチビッコギャングの如く滑っています。親子参加ですが、この行事は親と子を別々の班分けて指導します。この時のお父さん、お母さんは、スキーに対して結構マジで参加しています。お子さんは先生を親のように慕っています。女性指導員は、当初、静かな物腰で指導していますが、敵もさるもの、女先生の性格まで変えてしまいゲレンデは壮絶です。しかし、子供達が「〇〇先生」とリフトの上から声を掛けてくれると、嬉しむすべて忘れ、指導員としての喜びを感じてしまっています。

さらに強化部関係では「レーシングキャンプ」を昨年から設け、県連第二団体として地位を築くべく選手の育成に励んでおります。

平成7年度も協会所属団体、会員のお力を借りて、益々の発展を約束します。

神奈川県高等学校 体育連盟スキー専門部

高体連が協会となって四年が過ぎました。この間、県連各協会・関係クラブの皆様より、暖かい励げまし、ご指導ご支援をいただき厚く御礼申し上げます。

さて、二十年前「神奈川県高等学校スキー大会兼関東・

全国高等学校スキー大会神奈川県予選会」では凡そ60名の選手、10校にも満たなかった大会が二五〇名に近いエントリー、30校を数える規模となりました。この間、全国大会出場者へのSAJ競技者管理登録の義務付け、SAJポイント順のスタートと環境も変化して参りました。これに伴い、SAJ公認大会へのエン

準指導員強化講習 第18回準指導員および上級者強化講習は、66名の参加者を得て、2月24日、27日までの三日間に亘り、検定会場である山高原スキー場で開催された。期間中は積雪量も多く、天候、ゲレンデ共に絶好のコンディションの中、例年通り横浜出身のプロック技術員による講習が行なわれた。

講習は上級者養成コースの殆んどが来年度以降準指導員に昇格することから、受講者と併せて班編成をし、検定種目中心に行なった。

夜のミーティングでは、検定に対する諸注意や心構え等についての各講師からの講話の他、昼に撮影したビデオの解説を個別に行なった。参加者からも熱心な質問が出され、全員の技術力向上にむけ講師と参加者が一丸となった大変有意義な強化講習であった。

小田原スキー協会 '94パラリンピック冬季大会

代表選手 丸山 靖君健闘!

小田原スキー協会の各種行事も、5月15日に開催されたクラブ対抗親善ホーリング大会を最後に無事終了しました。

このコーナーでは協会行事を掲載するのがふさわしいのでしようが、今回は当協会の仲間がリレハンメルに於ける冬季パラリンピックに選手として参加した、丸山靖君の投稿を紹介いたします。

丸山君は当協会傘下のトライアルスキークラブに所属しており、このクラブはおそらく日本で唯一の障害者と健全者が共に行動しているクラブであると思います。

丸山君は、高校時代に事故で障害者となりましたが、持ち前の明るさと芯の強さから

車椅子使用者でもできるスキー、チェアスキーを乗りこなす、これまで何回もの国際大会に参加してきました。

協会では、彼に小田原選手権(2月・野辺山)で前走をやってもらい、国内で障害者の滑走チャンスの少ない中、リレハンメル行き環境づくりの協力をしました。

パラリンピックに参加して

'94パラリンピック冬季大会はオリリンピックが開催された1月後の3月にオリリンピックとほとんど同じコースで行われました。日本からの選手役員団は約50名。そのうち私を入れて3名の選手が神奈川県から選出されました。ハンディースキークラスの江川善一君

私と同じチェアスキークラスの平野恵美子さんの二人です。さて今回この大会に参加して、世界の人々の暖かさに改めて触れることができました。初日のダウンヒルトレーニングの日、国内のスキー場では経験できないバーンの固さにビックリ。思わず転倒し肩を打ってしまいました。痛めた肩をテーピングで押さえ、ゴールするまで肩がつかか不安の中でレースに挑みました。このとき他の国の大会関係者まで、一緒に心配してくれました。だまされませんでした。自分の事のように喜んでくれました。

結果は、4位とメダルに今一步と届きませんでした。また、スパーGは6位、大回転は8位と何とか完走することができホッとしました。銀



指導者親睦会

今回は、大和市スキー協会と協力関係にある、「大和市スキー指導者親睦会」を紹介いたします。

大和市スキー協会所属の指導員の数も増え、以前から指導員会的なものを作ろうという話があり、平成4年5月に発足しました。会員は正指導員、準指導員及び級別一級取得者からなり、活動内容の一つとして、県連行事へ参加する会員の宿、車の手配等を行っています。

横須賀スキー協会

2月11日から13日まで苗場スノーパルマベルカウントにおいて第1回選手養成レーシングキャンプを実施した。

参加者25名、役員5名、1班は沢口学を講師に迎え、午前中SL、午後GLSを中心に行なった。1人ひとりのレベルアップを目ざし、1本ごとに沢口講師等の助言を受けた。

2班は中村強化部長によるボールの基本技術を重点にレッスンをを行った。ゲレンデは混雑したが、レッスンは専用、リフトも優先乗車によりスムーズな講習となった。

夕食後は、ミーティングと沢口講師によるボール技術と各自のビデオの滑りについてのアドバイスを、深夜まで懇親を深めた。2日目はタイムチャレンジによるGLSを行った。参加者は着実に技術力のアップがはかられた。

FINISH

広報委員会の、編集委員の方々に支えられた一年が過ぎ、「SAKだより」の発行も終え、一息です。次年度は発行回数の増加と共に、インターフェイスの最新情報、そして県スキー連盟の法人化の進行状況など、盛りだくさんの内容が検討されています。それに加えて、読者参加の意欲で、会員の皆さんの積極的な各種情報の提供、及び写真の投稿(協会、クラブ、大会など)により、更に読み応えのある紙面にしましょう。

東海林

指導員会 NEWS

神奈川県スキー指導員会広報部
幹事長 吉岡 幹雄

スキー連盟との協調体制

委託事業 クラウン・テクニカル検定会 を開催 指導員養成講習会

第7回特別研究会

(指導員養成講習会)



認定行事で一五〇名が参加！
正指受検並びに指導力の向上を目的に実施してきた特別研究会は、今回から県連との協調体制の一環として準指受検者も対象とした指導員養成講習会受講の認定行事としてモデルチェンジし、正指一〇名・準指二一〇名の受験者が参加する行事となった。

松浦名誉会長直々の指導
三塚専門員が指導する正指受検班では「各検定会場での共通する重要な鍵は、基本的なスキー操作の理解とその習得！」と松浦名誉会長の熱のこもったアドバイスもある。

ビデオ講習はカメラ3台で講師の指摘と自己イメージを一致させるビデオ講習では3台のカメラを動員し効率的な運営を図るなど、実効ある高水準の養成講習会となったと自負している。

新指導員の活躍を期待する！

第10回指導員会

フェスティバル

期日 H6年4月9日〜10日
会場 車山高原スキー場
桜の花の満開に酔い、かたわらに名残り雪と冬を憧憬しながら指導員フェスティバルを開催。過去最多数の指導員とその友人達が集い、ドラマと興奮を演出した。

ブロック技術員による講習会
根本 孝夫 原田 実
渡部 節 藤間 浩之

指導員会に対するSAK執行部の積極的な理解と協力を受けて、四名のSAKブロック技術員の派遣をいただき、熱気のある講習会が展開された。

抽選会に湧く歓声！
協賛企業十五社による絶大な協力を得た。(株)シティファイブス提供の特別賞を含めた各豪華賞品の抽選に、前夜祭会場



幹事長あいさつ



吉岡 幹雄

昨年9月の役員改選で幹事長に推挙され、水島前幹事長の後任として幹事長の大役をお任せいただきました。

スキー連盟との協調体制も整い、新執行部としてどうしたら会員の皆さんに喜んでもらえるかを考え、6年度の執行に入りましました。

クラウン・テクニカル検定会報告

期日 H6年3月4日〜6日
会場 車山高原スキー場
今年度よりクラウン・テクニカル検定の運営が指導員会の役割り



となり、我々ははりきって運営に当り三日間(三日目は合格発表のみ)の内、前半の二日間の午前中はSAJブロック技術員四名による講習も新しく取り入れられました。

検定は一日目は快晴、二日目は雪がちらつきながらもまずまずの天気だったのですが、とんでもないアイスバーンになっていたので受験者はかなり苦労したのではないかと思います。その為かレベルは今一歩だった様に感じました。

結果は、クラウン申し込み欠席者二名、合格者〇。テクニカル申し込み欠席者十四名、合格者二名でした。

記、平賀淳夫

は一喜一憂の歓声と嘆息に湧き、親睦の和と理解を高めた。大回転競技会の栄光は我に!!
豊富な積雪と雪質に加へ、スキースクールのスタッフによる万全なコース整備を受け、大会ステージはデュアルレース。最高の緊張感を上げた。

オール神奈川
スキーヤーズ大会報告
第13回オール神奈川スキーヤーズ大会は、二月五日〜六日に新潟県の八海山麓スキー

第7回特別研究会、オール神奈川スキーヤーズ大会、クラウン・テクニカル検定、フェスティバルと各行事に指導員会としての特色を持たせて開催を致しました。

特にフェスティバルは、参加400人を越える今迄にならぬ大きな行事となり会員の皆さんにも喜んで頂けたのではないかと考えております。

指導員会の活動は県連との関連なしではできないものがあり、その中でお互いに助け合いますので今後共よろしくお願い致します。

反省点として、この時期は各協会の行事と重なり、参加者が少ない大会となつております。来年の第14回大会は、各協会とも年間行事として取扱っていただき、多くの選手が参加されることを要望します。

尚、本大会の最優秀選手に指導員の部 向井裕一
男子選手の部 西 秀昭
女子選手の部 与口華那
が受賞しました。

第13回オール神奈川スキーヤーズ大会

期日 H6年2月6日
会場 八海山麓スキー場

- マスターズの部 女子
- ①伏屋 真澄 横浜スポーツマン
 - ②加藤紀美子 横浜教職員
 - ③丸山 禮子 川崎スキー
- マスターズの部 男子4組
- ①熊谷 敏夫 横浜同好会
 - ②内田 鉄蔵 川崎スキー
- マスターズの部 男子3組
- ①青木 規生 横浜教職員
 - ②榎本 賀一 川崎スキー
 - ③大澤 保男 横浜教職員
- マスターズの部 男子2組
- ①丹羽 一夫 横浜スキー
 - ②山口 巖 個人
 - ③大澤 佑吉 川崎スキー
- マスターズの部 男子1組
- ①戸嶋 洋治 びーたばん
 - ②小林 俊夫 横浜スキー
 - ③福沢 洋治 横浜同好会
- 一般の部 女子2組
- ①堀川 雅世 横浜教職員
 - ②伊藤 文恵 ケンウッド
 - ③青木 香弥 横浜教職員
- 一般の部 女子1組
- ①与口 華那 横浜スキー
 - ②向山由里子 相模湖スキー
 - ③向山由希子 相模湖スキー
- 指導員の部 女子
- ①村山 晶子 横浜教職員
 - ②瀬田加寿子 川崎スキー
 - ③阿久津光代 大和同好会
- 一般の部 男子3組
- ①鎮目 隆夫 フアルケン
 - ②島袋 清一 横浜同好会
 - ③内野 達之 東洋通信機
- 一般の部 男子2組
- ①安永 謙司 SCどんぐり
 - ②佐藤 暢夫 サンタクロースSC
 - ③中村 浩之 東電コロポック
- 一般の部 男子1組
- ①有賀 章一 東電神奈川
 - ②高橋 孝樹 横浜YY
 - ③樽石 竜二 日通工
- 指導員の部 男子3組
- ①善家 英人 川崎スキー
 - ②吉田 春雄 日立汎用
 - ③細川 弘幸 まつりスキー

Official Score

- 指導員の部 男子2組
- ①向井 裕一 川崎スキー
 - ②所谷 雅史 相模湖スキー
 - ③上條 二郎 SCオメーラ
- 競技選手の部 男子3組
- ①篠崎 敏男 山手スキー
 - ②近藤 康治 横浜スポーツマン
 - ③星 高敏 横浜アルペン
- 競技選手の部 男子2組
- ①西 秀昭 神奈川若葉
 - ②中島 真一 横浜スポーツマン
 - ③荒井 晃一 東電コロポック
- 競技選手の部 男子1組
- ①阿部 忠雄 東電コロポック
 - ②黒田 真也 神奈川若葉
 - ③前田 浩 横浜スポーツマン
- 指導員フェスティバル
- 期日 H6年4月9日〜10日
場所 車山高原スキー場
オールドパワールの部
- 女子2組
- ①丸山 禮子 川崎スキー
 - ②白井 嘉子 横須賀共済
 - ③行木 クニ 湘南茅ヶ崎
- 女子1組
- ①加藤紀美子 横浜教職員
 - ②井野美代子 いすゞ川崎
 - ③廣松 佐禰 横浜スポーツマン
- 男子5組
- ①田中 正誼 いすゞ川崎
 - ②松浦益司郎 神奈川雪友
 - ③小林 俊輔 バイスバウム
 - ④細井 健吾 横浜同好会
 - ⑤本田 安男 横浜スポーツマン
- 男子4組
- ①細井 健吾 横浜同好会
 - ②本田 安男 横浜スポーツマン
 - ③佐藤要次郎 横浜同好会
 - ④村石 勇 いすゞ川崎
 - ⑤榎本 賀一 川崎スキー
- 男子3組
- ①岡本 重男 ユーベル
 - ②須田 恒男 横浜教職員
 - ③大沢 佑吉 川崎スキー
 - ④福沢 洋治 横浜同好会
 - ⑤松井 隆一 川崎スキー
- 男子2組
- ①徳田 盾夫 SCどんぐり
 - ②小山 貴史 ヴィヴァント
- 少年・少女の部
- ①向井 裕一 川崎スキー
 - ②阿久津光代 大和同好会
 - ③木村 巧 藤沢スキー
- テクニカル検定合格者
- ①草薙 夕美 横須賀雪友
 - ②関根 明美 クリスタライズ
 - ③山口由紀子 日立汎用
- 男子の部
- ①一ノ宮勝行 SCカメ
 - ②鎮目 隆夫 フアルケン
 - ③戸沢 真美 秦野スキー
- ①秋山 昇男 関東自動車
 - ②三浦 一秋 東電コロポック
 - ③細川 弘幸 まつりスキー
- ①原田 義三 ヴィヴァント
 - ②小山 正治 ヴィヴァント
 - ③本田 衛義 横浜スポーツマン
- ①荒井 晃一 東電コロポック
 - ②桐生 武 大和同好会
 - ③寒川 勝巳 東電コロポック
- ①有賀 章二 東電神奈川
 - ②森 雅昭 いすゞ川崎
 - ③前垣 泰延 東プレススキー
- ①二ノ宮 岳 SCカメ
 - ②阿部 忠雄 東電コロポック
 - ③原島 雅義 サンタクロース